

第 33 回 下呂市上下水道運営委員会

令和 6 年 7 月 19 日

下呂市役所 上下水道部 上下水道課

第 33 回 下呂市上下水道運営委員会 会議録

【日時】 令和 6 年 7 月 19 日 金曜日 15 時 00 分から 16 時 30 分まで

【場所】 益田信用組合本店 3 階会議室

- 【次第】
- 1 開 会
 - 2 会長あいさつ
 - 3 議 題
 - (1) 水道料金改定後の経過報告について
 - (2) 下水道料金改定について
 - (3) 令和 5 年度決算状況及び令和 6 年度予算について
 - (4) その他
 - 4 閉 会

【出席者】 <委員>

伊東 祐	☆会長
二村 チズ子	☆副会長
鈴木 裕識	☆学識経験者
内木 孝之	
熊崎 武司	
今井 美佐子	
野村 勝	
森 哲男	
曾我 純次	

<事務局>

今村 正直	(上下水道部長)
岩田 考広	(上下水道部水道課長)
谷田部 武一	(上下水道部下水道課長)
兼山 壽伸	(上下水道部水道係長)
中川 悦志	(上下水道部下水道係長)

【欠席者】 <委員>

福永 和也
岡田 佳香
高木 祥子
高井 範和

【議事等の摘要】

1. 開 会

○事務局（上下水道部長 今村 正直）

〈開会挨拶〉

2. 会長あいさつ

暑い中出席していただきありがとうございます。10 月で任期が満了するため我々で行うのは最後になるので、委員会終了後、以前から話に出ていた浄化センターを見学に行きたいと思います。

当委員会は、山内市長の市政の方針として市民のライフラインである水道事業を料金改定で補填する方向となりました。その浮いた予算で福祉・介護の充実を図りたいとのことでした。会議を積み重ね、昨年 12 月議会で上水道と簡易水道の料金の改定が可決され、下水道料金も改定に向かっており、少し肩の荷が下りたと思います。下水道料金については 10 月からの新しい委員会に委ねたいと思います。

当委員会の皆様には、3 年間ご苦労いただきました。感謝申し上げます。本日も色々な意見を交わしたいと思います。

ありがとうございました。

●事務局

会議に入ります前に報告します。当会議は令和 5 年 11 月より約 8 カ月ぶりとなります。その間に水道料金の改定について 12 月議会で議決され 4 月より統一料金での運営が始まっております。その経過報告は後程させていただきます。

本日は最後の委員会となります。本当にありがとうございました。上下水道部も 4 月に人事異動があり 4 名入れ替わりがありました。

1 月に発生した能登半島地震では 5 月時点でも輪島市で 2,000 戸が断水しているとのことでした。上下水道の重要さが再認識されたと思いますので、これからも事業を進めていきたいと思います。

本日の委員会は、水道料金改定後の経過報告、令和 5 年度の決算、令和 6 年度の予算についての報告事項が主となりますが、またご意見いただければと思います。当会議後に湯之島浄化センターの視察を計画しました。参加していただける方は、よろしくお願いいたします。

3. 議 題

◆ 資料

・ 第 33 回下呂市上下水道運営委員会資料

(1) 水道料金改定後の経過報告について 資料 1

<事務局より資料説明>

●事務局

水道課長より資料に沿って説明。

- ☞ 上水道の料金改定について経過を報告 (P1～2)
- ☞ 簡易水道の料金改定について経過を報告 (P3～4)

<各委員からの主な質疑、意見等>

○委員

一般の方からは問い合わせがなかったのか。

●事務局

一般家庭からはほとんどありませんでした。逆に簡易水道は基本料金が下がりましたので、ありがたかったという意見が何件かありました。上水道は、ほとんど変わっていませんでしたので特段ありませんでした。

(2) 下水道料金改定について 資料 2

<事務局より資料説明>

●事務局

下水道課長より資料に沿って説明。

- ☞ 下水道使用料金改定 (案) について説明 (P1)
- ☞ 転換事業・料金改定をした場合の会計収支予定について説明 (P2～3)
- ☞ 下水道料金改定のスケジュール (案) を報告 (P4)

<各委員からの主な質疑、意見等>

○委員

下水は下呂の旅館が一番多いと思う。そこも配慮しなければいけないと思う。

●事務局

温泉を使用した場合は、入湯人員が料金算定のもとになっている。今の掛け率である 0.95 という数字に関していいのか、またこの方法が正しいのかは検討しなければいけないと考えています。

○委員

どれだけ下水道で料金を上げたいか（どれだけ収入分を出すか）から逆算しなければいけないと思う。

●事務局

下水道の恩恵に預かっていない方々の税金まで投入されてしまっているのは不公平だということで、基準外繰入を無くしたいというのが最初の目的で、それをするには今の料金より 50%近く上げないといけないことから料金改定案を作成しました。当然温泉水の問題がありますので、それによっては改定案も多少の配慮等必要になってくると考えています。

○委員

温泉排水は下水道を使用しているのか

●事務局

下水道に流しているところもあります。

○委員

今言われた 0.95 は旧下呂町の時のやり方のままできていて、このままでずっと変わらずやっていくかというのは今後議論の的になってくると思う。

○委員

上水でいうと、湯之島は水道の効率は良かったが、料金を統一して分けてしまった。その辺りも配慮しないと、不利になってしまう。

○委員

旅館組合の中で、100%下水はっていない（合併浄化槽）。合併浄化槽も耐用年数があり色々な問題がある。下水道の料金は高くなっていくが、下水に繋がないととは

思っている。

入湯税 0.95 の計算より料金は 2.5 倍ほどになる。0.95 という数字が現状に合っているのかというのは旅館から出ると思う。

●事務局

下水道の方は新しい委員の方々に審議していただきます。

(3) 【水道事業】 令和 5 年度決算状況及び令和 6 年度予算について 資料 3
<事務局より資料説明>

●事務局

水道課長より資料に沿って説明。

📄 令和 5 年度決算状況及び令和 6 年度予算及び主要事業について説明 (P1~11)

<各委員からの主な質疑、意見等>

○委員

対前年比で収入は減っていて支出は増えているのは良くないことだと思うが、どうしてなのか。さっきは観光客が増えたから収入が増えたという説明があったが。

●事務局

上水は観光客により増えましたが、簡水は人口の減少などにより減っています。

●事務局

3P「経営指標の推移」を見ていただくと「経常収支比率」「料金回収率」が 5% 程減少しています。これは令和 5 年度 1 月・2 月に燃料費高騰対策ということで基本料金を減免しましたので料金収入には上がっていません。一般会計から補填されたということで、大きく料金収入が減ったと見えますが実際は違います。

11P の対比は当初予算の比較です。収入について実質は 4% 増の見込みです。

加えてもう一つご説明します。3P の「管路経年化率」17.3% は年々増えていっています。これは老朽管が増えているということです。それに対して「管路更新率」は 0.06% です。管路更新率を上げるために料金改定を行いました。管路耐震化に向かっていくというところで、先程工事の説明をさせていただきましたが、ようやく浄水場から配水池までの管路の整備に向かっていくということです。

○委員

今下呂に地震がこればアウトか。

●事務局

アウトです。東上田の浄水場から配水池に送る管がやられてしまうと全域に被害が出ます。

また、配水池から下呂の市街地に送る管の計画はまだできていません。東上田の浄水場からの市道森 96 号線には水道管も下水道管、更に電線、ガス、温泉とあらゆる管が入っているので中々工事が難しい部分があります。例えば、西上田側にも管を通して二重にしておくなども考えておかないといけないと思います。水道管の工事に必要な仮設管を市街地に置くのは現実的に無理なのではないかと思っている状況です。順次計画を立てていきます。

議会でも説明しましたが、工事費用に対してこの料金改定ではとても賄えない。今回は統一が主たる目的です。本格的に工事をしようと思うと 5%の改定では難しいです。下水道料金改定後、水道も数十%の改定でないと対応していきません。

○委員

100 年計画でやるべき。なにかあった時に無茶苦茶になってしまう。新しい委員会に危機感を持ってやってほしい。

国や県からの補助金は考えられないのか。

●事務局

ありますが、水道は補助率が低いです。借金と料金改定で対応していくしかないと思います。

○学識経験者

経年化率に対する更新率をあげると考えるとどこが無理なのか。理想の更新率などどうあるべきかが見えてこない。

もう一つは、安全な水を供給するためにある程度市が負担するのは前提条件なので、会計が別なのはわかっているが、市に負担してもらったうえで料金改定といった収支を見ないと訳がわからない。次はそのような方向性の資料があるといいと思う。

これからについては劣化したものをどうにかしないといけないのはその通り。上下水は管を使うが、できるだけ多くの人が利用した方が効率がいい。山間部という下呂市特有の地形を考えたときに離れたところから水を送ったり出すというのは難しいの

で、そのようなところには特別条件で浄化槽であったり簡易水道を使って、それ以外のところは上下水道を使っていた方がいいと思う。そうすれば投資が集まり少しは赤字が改善されるかもしれない。

○委員

旧下呂町での下水道加入率は低いのか。

●事務局

他地区と比べると低い。農集地区の方が高いです。

●事務局

市の施設も一部繋いでいないものがあります。

下水道は能登半島地震からわかるように弱いです。管が使えなくなると全てダメになってしまいます。避難所になっている施設などは合併浄化槽にしている場合があります。

マンホールトイレも管がだめなら解決にはなりません。合併浄化槽も下水に繋いでいただきたい気持ちは山々ですが、ある程度は残しておいた方がいざという時にいいと思います。

○学識経験者

そういう意味では合併浄化槽はいいと思うが、個人の管理になるのでそれなりの知識と維持管理意識が必要になる。合併浄化槽も管理がいるという認識はある。

下水道の方が水質はいい。

下水道も毎年管理とコストがかかることを住民に認識してもらうことが必要だと思う。赤字と料金改定は別で考えるべきなのではないかと思う。

(3) 【下水道事業】 令和5年度決算状況及び令和6年度予算について 資料3
<事務局より資料説明>

●事務局

下水道課長より資料に沿って説明。

☞ 令和5年度決算状況及び令和6年度予算及び主要事業について説明 (P12～22)

<各委員からの主な質疑、意見等>

○委員

合併浄化槽転換に反対しているなら市の方でいくらか補助すべきではないのか。それぐらいじゃないと進んでいかないと思う。

●事務局

建設費は市負担です。現時点の精一杯で提案しています。

●事務局

時間をかけて進める必要があると思います。

●事務局

本日の議題を終了します。

任期満了にあたり変わられる方は後任の方を報告していただけると幸いです。